

志望校合格を目指す生徒とそこそご父母のための大学進学情報紙

TOSHIN TIMES

6/1
トーチンタイムズ
2017年 6月1日号
毎月1日発行

This month's Headlines

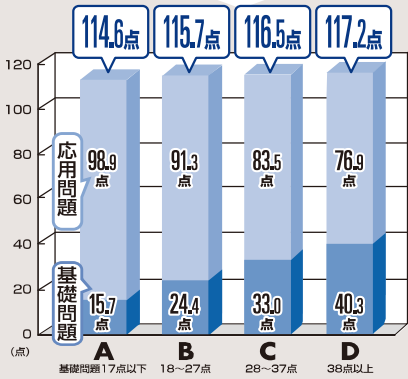
今は見えない基礎の差
半年後には21.5点差!

- “飛躍の夏”を迎えるための3ステップ 02
東進自慢の実力講師陣が贈る珠玉のメッセージ
- 学習アドバイス [英語/数学/古文/化学/日本史] 04
- 輝け! 部活生!! 東進OB・OG座談会 06
- オープンキャンパスに行こう! 08
- 憧れの職業を追え! 銀行業界 国際法人 編 12
トップライターと学ぶワークショップ
- 東京大学教授 慶應義塾大学教授 鈴木 寛先生 14
- 学びの極意 神奈川県立 横浜翠嵐高等学校 15



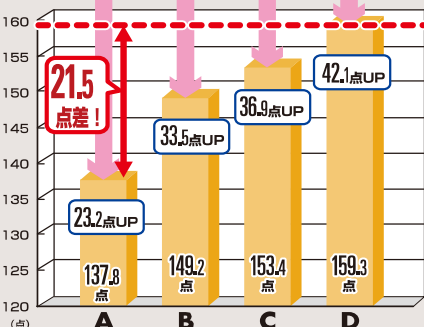
夢は大きく、
目標は高く。

6月の得点は大差がなくても...



資料1 6月「センター試験本番レベル模試」1~5点前後グループA~Dの得点内訳 (英語・100点満点)

基礎の差で半年後の伸びが違う



資料2 A~Dグループ別「センター試験本番」の得点 (英語・100点満点)

<データについて>

対象：2016年6月「センター試験本番レベル模試」の受験者で英語(筆記)が115点前後、かつ2017年のセンター試験本番で英語(筆記・再現)の得点が判明した高3生。
基礎問題得点：英語200点満点中、基礎知識があると得点できる問題(47点)を抽出したものの。

高3生 必見!!

半年後の

夏までには基礎をやっておこう!

センター本番で21.5点差!!

(200点満点) センター英語

今は見えない基礎の差

まずは資料1を見てほしい。これは、昨年6月に行われた東進の「センター試験本番レベル模試」(英語で、115点前後)だった受験者をピックアップし、基礎問題・応用問題の得点別に4つのグループに分類したものである。グループAは、基礎問題の得点が47点中17点以下だったグループ。4グループの中では最も基礎問題の得点が低かったグループだ。それに対しDは、応用問題

に苦戦したものの、基礎問題は47点中38点以上と最も得点できていたグループである。半年後のセンター試験本番で、A~Dの成績はどのように変化したのだろうか?

6月では見えなかった基礎力の有無が、半年後の本番の成績に大きな違いとなって現れたと読みとれる。つまり、学習を進めるならば、基礎力↓応用力の順に身に付けることが重要ということだ。

また、その計画のためには今の自分の力を把握することが必要だ。6月25日(日)に行われる「第3回6月」センター試験本番レベル模試は必ず受験しよう。

「受験の天王山」である夏。この夏を充実させ、ぐんと成績を伸ばすためには、このよほどの条件が必要なのだろうか? また、夏までどのような準備をしておけばいいのだろうか?

この問いに答えるべく、編集部では昨年の「第3回6月 センター試験本番レベル模試」の得点を調べ、成績の伸びを左右する要素を調べてみた。今の成績がほぼ同じでも、半年後のセンター試験本番でより良い結果を生み出す条件を紹介しよう。

半年後には21.5点差!

半年後のセンター試験本番の英語(再現)の得点が資料2だ。6月の時点で同じ115点前後であったが、半年後のセンター試験本番でAとDの間では21.5点もの得点差が生じた。

半年後には21.5点差! 受験の天王山である夏。貴重な夏だということも誰かが認識しており、努力して勉強もする。今号は、夏を充実させるために夏までやるべきことを特集したので、学習計画の参考にしてほしい。